

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	シーフ	Lv.1:		レベル	6
サポートクラス	バーサーカー	Lv.1:	バーサーカー	性別	女性
称号クラス				年齢	18
種族	ネフェリム			境遇	裏切り
出自(効果)	騎士			目標	戦い好き

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	21	15	9	10	9	9	7
ボーナス	7	5	3	3	3	3	2
クラス修正	1	2	1	0	2	0	0
他修正		1	1		1		
能力値	8	8	5	3	6	3	2

HP	82
MP	55
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	八重鎌S3	至近	-2	10	0	0	0	0	0
左手									
頭部	ハットS3					3			
胴部	華服S3					4			
補助	狂撃の籠手					4			
装身具	神血のタリスマン					1	1		
能力値			8	0	5	0	3	11	13
スキル	ダグデモア、マシンアーマー					2	1	2	
その他	スタイルヤエガキ		2						
総計(右)			8	10					
総計(左)			10	0	5	14	5	13	13
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	6			6	+ 2 d
トラップ解除	8			8	+ 2 d
危険感知	6			6	+ 2 d
エネミー識別	3			3	+ 2 d
アイテム鑑定	3			3	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
精霊:地のクリスタル	ハイHPポーション*3
弱体スリップのクリスタル	MPポーション*6
硬化のクリスタル	ハイMPポーション*2
飛行のクリスタル	
増幅のクリスタル*2	
感知のクリスタル	
器用のクリスタル	
ポーション等(後ほど)	
毒消し*2	
HPポーション*2	

現在重量: 16
 最大重量: 21
 所持金: 20
 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ジャイアントグロース	★	5	セットアップ					
効果: 超大型を取得し、攻撃のダメージ+2。マイナーで解除。シーン終了時まで								
ワイドアタック	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	命中		
効果: 武器攻撃を行う。2体以上を対象に取ったらダメージ+[SLx2]								
インタラプト	1			視界			シナリオ回	
効果: 対象のアイテム、パッシブ以外のスキルを無効化し終了させる。								
アームズマスタリー鞭	1		パッシブ				鞭	
効果: 鞭の命中+1d								
バーサーク	1	3	マイナーアクション		自身	自動成功		
効果: 武器攻撃SL*3&自身のリアクション-1D								
ソウルヒート	3	3	バーサーク			自動成功		
効果: 自身に狂戦士化SL+1を得る。								
フリンジスイング	1		パッシブ				両	
効果: 白兵攻撃命中+1d、狂戦士化を受けている時。								
スタイルヤエガキ	5		パッシブ				鞭	
効果: 命中+2、ダメージSL*d								
トゥーハンドブロウ	2	6	マイナー				両、シーンSL回	
効果: 白兵攻撃で1点でもダメージを与えた場合、対象を10m以内の場所に移動させる。エンゲージから離脱も可能で封鎖を受けない。方向はあなたが決定すること。								
ロングアーム	1		パッシブ					
効果: 白兵攻撃の射程+5m								
ジャイアントフォース	1		パッシブ					
効果: ジャイアントグロース時、武器攻撃+6								
ランナップ	1	3	セットアップ					
効果: 戦闘移動、離脱を行う。								
ブルータルライフ	1		クリンナップ					
効果: 狂戦士化時使用可能。SL×3回復する。								
アーツヤエガキ	1	6	ムーブアクション				鞭	
効果: エンゲージしていない対象に白兵攻撃が可能。射程5mとなりダメージにSL*3する。								
フックダウン	1		クリンナップ				シーン1回	
効果: ポーションを飲むよ								

■イオ
 一人称オレ様
 傭兵の生まれのネフェリム
 巨人であるネフェリムは、各国の騎士として需要が高かった。
 父は、とある国の騎士でありイオも彼の背中を見て育っている。
 幼い頃からガキ大将で、イオの力に敵うものはいなかった。

騎士見習いとなった、イオだが自身の攻撃に味方が巻き込まれてしまい
 謹慎処分を受けることになる。
 イオは自分が強くて守れば問題ないと思っており、そのことがきっかけで騎士をやめてしまう。
 その後は傭兵として渡り歩いていた。
 傭兵として戦っている時、バーサーカーとして戦う個人主義の彼女を見て
 雇い主は囧として扱うようになってしまう。
 彼女自身も裏切られるのは慣れたもので、思い切り力をぶつけられることが彼女の楽しさだった。

傭兵生活で、色んな場所を渡り歩くうちにダンジョンについての噂を聞く。
 PT募集に応募し、皆と共に戦うことになった。

